



医療経営士ニュース | これからの医療現場を担う経営人材のための機関紙

MMS NEWS

2017 **6** 月号
Vol.76
毎月1回発行(通巻76号)
編集:日本医療企画

一般社団法人日本医療経営実践協会 〒101-0033 東京都千代田区神田岩本町4-14 神田平成ビル7F TEL.03-5296-1933 <http://www.jmmpa.jp/>

第6回「全国医療経営士実践研究大会」広島大会 2日間(11月18~19日)の大会プログラムが決まる!

大会初! 医療経営士が特別講演で登壇 演題発表枠の上限は20人へ

●第6回 広島大会 大会プログラム

1日目 11月18日 開場12:30~	
13:00~13:20	開会挨拶
13:20~14:00	基調講演 現場主導による病院経営改革と目指すべき姿 ——新しい地域づくりに向けた人材育成・養成戦略 浅原正(広島県病院事業管理者・広島県参与/元広島大学学長)
14:00~14:40	医療経営士 特別講演1 変革期に求められる「医療経営士の使命と課題」 ——自院から地域、そして日本の医療の変革へ 園田幸生(社会福祉法人恩賜財団済生会熊本病院医局/医療経営士1級)
14:40~15:20	医療経営士 特別講演2 変革期に求められる「医療経営士の使命と課題」※副題未定 中村真之(医療法人玉昌会加治木温泉病院薬局兼法人事務局 チーム医療推進部薬局長兼次長/医療経営士1級)
15:35~15:40	審査委員長メッセージ 発表にあたり 吉長成恭(県立広島大学大学院経営管理研究科 ビジネスリーダーシップ専攻客員教授/医師/医学博士)
15:40~15:45	審査委員紹介
15:45~17:31	演題発表 セッション1 【経営改革】
17:45~18:15	スポンサー・セッション
18:30~20:30	懇親会 全国医療経営士情報交換会
2日目 11月19日 開場9:30~	
10:02~11:48	演題発表 セッション2 【地域医療連携】
11:48~13:00	ランチョンセミナー (提供:株式会社明治)・休憩
13:00~14:57	演題発表 セッション3 【人材育成・養成/人材活用】
15:15~16:01	演題発表 セッション4 【患者サービス/広報】
16:15~17:00	特別対談 新しい地域づくりとこれからの医療機関経営 ——求められる人材とその使命 木矢克造(県立広島病院第22代院長) 斐 英洙(ハイズ株式会社代表取締役社長/医師・医学博士)
17:10~17:30	講評・表彰
17:30~17:35	閉会挨拶

※5月10日現在。プログラムは諸般の事情により変更になる可能性があります。敬称略

大会1日目は、主催者、大会運営委員長による開会挨拶のあと、広島県病院事業管理者・広島県参与の浅原正氏による基調講演で幕が上がる。浅原氏は2007年から8年間、広島大学学長を務めたあと、

経営人材に求められる
資質とその育成に
向けた戦略とは?

広島県の基幹病院連携強化会議座長として広島都市圏における医療提供体制の効率化に取り組んできた。浅原氏が語る病院経営改革や人材育成に向けた戦略は、今後の医療経営士の活動を考える上で重要なヒントになるだろう。

田幸生氏と医療法人玉昌会加治木温泉病院薬局兼法人事務局チーム医療推進部薬局長兼次長の中村真之氏が「変革期に求められる『医療経営士の使命と課題』」をテーマにそれぞれ登壇する。演題発表を除き、全国大会の場で医療経営士が講演をするのは今大会が初めて。1級取得者でもある2人は、医療経営士を牽引す

11月18日(土)・19日(日)に広島YMCA国際文化センターで開催される第6回「全国医療経営士実践研究大会」広島大会の大会プログラムが決定した。6月上旬には、いよいよ大会参加と演題発表登録のエントリーが開始される。前回大会の演題発表で審査委員奨励賞を受賞した3人の医療経営士から届いたメッセージ(2面)とともに、本大会のプログラムの概要を紹介する。

第6回 全国医療経営士実践研究大会 **広島大会** 6月上旬より参加エントリー 演題発表登録の受付開始!

2017年
11月18日 土
11月19日 日

変革期に求められる
医療経営士の使命と課題

——現場主導による経営改革と新しい地域づくり

求む!
医療経営士
による
演題発表

医療経営士による日ごとの実践の成果を発表する場です。多くの医療経営士のチャレンジをお待ちしています。

会場 **広島YMCA国際文化センター**
広島県広島市中区八丁堀7-11

大会運営委員長 **梶原四郎**
医療法人社団清風会理事長/日本医療経営実践協会中国支部支部長

るリーダー役として自らの使命をどのように考え、何を目指しているのか。自院や地域づくりに関する取り組みだけでなく、国の医療政策に向けた提言にも期待したい。

**演題発表枠の上限は20人
発表時間は1人15分へ**

大会1日目の中盤は、医療経営士による演題発表が行われる。今大会では審査委員長に県立広島大学大学院経営管理研究科ビジネスリーダーシップ専攻客員教授で、『医療経営士テキストシリーズ』の執筆者でもある吉長成恭氏を迎え、「経営改革」「地域医療連携」「人材育成・養成/人材活用」「患者サービス/広報」の4つのセッションに分かれた演題発表者が日頃の実践活動を報告する。発表枠の上限は20人、発表時間は1人当たり15分になる予定だ(前回名古屋大会より5人増、5分短縮)。また、前回大会同様、各セッションでは会場とのディスカッション、質疑応答が行われる。大会1日目は吉長氏によるメッセージ「発表にあたり」のあと、セッションを実施する。

み、懇親会が開催される。懇親会のオープニングセレモニーでは、「安芸ひろしま武将隊」が甲冑姿でパフォーマンスを披露。会場を大いに盛り上げるだろう。

大会2日目も盛りだくさんの内容で送る。演題発表のセッション2、4のあと、県立広島病院第22代院長の木矢克造氏とハイズ株式会社代表取締役社長の斐英洙氏による特別対談「新しい地域づくりとこれからの医療機関経営——求められる人材とその使命」が行われる。地域のさまざまな医療ニーズにこたえる基幹病院の院長として経営の最前線でタクトを振るう木矢氏と、医師でMBAホルダーという肩書を持ち、経営コンサルタントとして活動する斐氏。立場が異なる2人がこれからの経営人材に求める資質とは何か。活発な意見交換に注目したい。

特別対談のあとは、吉長氏による演題発表の講評、受賞者の表彰式が行われ、閉会挨拶「次回札幌大会開催に向けて」で、2日間の大会は幕を閉じる。

大会参加ならびに演題発表登録のエントリーは、6月上旬より協会ホームページで受付開始。一人でも多くの医療経営士に足を運んでいただきたい。

6月上旬
演題発表登録
受付開始!!

最高の舞台上で日頃の成果を報告しよう!

第5回名古屋大会審査委員奨励賞受賞者からのメッセージ



医療経営士として
プレゼンスキルは不可欠

兵藤敏美氏
千葉県済生会習志野病院
事務部
事務次長兼経営企画室長

医療経営士の仲間と当院の取り組みについて話をしたところ、全国大会での演題発表を薦められたため、挑戦を決意しました。

現状把握と課題抽出から当院のミッションを果たすためにどのように戦略を立て、それを実現するためにどのようなアクションプランを立てて実行したのか。発表に向けた事前準備では、短い時間のなかでなるべくわかりやすく伝えるために資料作りを工夫したり、事例を踏まえて話をするように心がけました。

大会では普段お会いしたことがない方々と交流し、有意義な時間を過ごせました。受賞したことを院内で報告したことで、以前に増して信頼度が高まったように感じています。

日頃の成果を決められた時間内で、多くの聴衆に向けてプレゼンテーションすることは、組織を動かさなくてはいけない医療経営士にとってとても貴重な経験になると思います。ぜひ皆さんも日頃の活動を発表しましょう。



受賞をきっかけに
有志による勉強会を発足!

益田敏治氏
株式会社ベネスト
ビジネスアドミングループ
マネージャー

私が行った町内会での活動は、医療経営士としての学習、人とのつながりのなかから気づいたものでした。同じような視点に気づいた方がいるのか、業務外の医療経営士としての活動はどのような評価を受けるのかを試したくて演題発表にチャレンジすることにしました。

発表スライドには、関西支部の皆様からいただいたさまざまなアドバイスを盛り込みました。また、町内会の活動は場所や土地柄がわかりにくいので、地図やゆるキャラを用い、その特徴を示す工夫をしました。

自分自身の活動が高く評価され、賞をいただいたことに驚きました。受賞をきっかけに有志の勉強会を立ち上げることができました。

医療経営士の知識を活かすのは、現場でリーダーシップを発揮する場面ではないでしょうか。登壇して得られる経験はリーダーシップの形成に大きく寄与し、現場に持ち帰れば必ず成果につながるはずです。



プレゼン資料の推敲を重ね
短い時間で伝わるように工夫

山本 誠氏
白山石川医療企業団
公立松任石川中央病院
管理部経営管理課係長

当院には10人の医療経営士が在籍しており、それぞれの部署で専門性を活かし業務を遂行しています。そこで、院内の有資格者を集め、経営について考える経験としてアウトプットを重視した実践を行うことになり、効果があったと実感したため発表することを決めました。

大会に向けて、ともに取り組んだ医療経営士に集まってもらい、内容が伝わるように何度も練習し、資料の推敲を重ねました。また、時間内に収まるよう、活動内容の取捨選択を行いました。

発表することで誰かに響くことがあると思います。受賞したことで、院内における医療経営士の認知度がさらに高まり、資格認定試験の受験者が増えました。また、私自身、名古屋大会では他の演題発表者の報告を聴き、非常に感銘を受けて業務に活かしたいと思いました。広島大会には私も参加する予定です。皆さんの発表を楽しみにしています。

医療経営士にオススメの書籍

好評
発売中!

コップの中の医療村

——院内政治と人間心理

28歳で医療界に転進、在宅医療専門診療所の事務長として辣腕を振るうかわら、在宅医療コンサルタントとしても活動してきた著者が綴る医療現場の真実。在宅医療の裏話、医師・看護師・患者が繰り広げる人間模様、診療所経営のヒントを明かす!

●著者:中村 哲生(医療法人社団永生会特別顧問)

【はじめに】問題の本質はすべて人間関係にある

【第1章】患者は知らない在宅医療の真実

【第2章】辣腕事務長が明かす「開業」「集患」「採用」戦略

【第3章】プライドVS女社会 医療現場に巣食うトラブルメーカー

【第4章】地域の信頼を勝ち取るための患者クレーム対応術

●定価:1,500円+税 ●体裁:B6判/180ページ

診療所事務長
として25年
プロが語る
医療現場の真実!



北原照久氏
推薦!

診療所事務長
として25年
プロが語る
医療現場の
真実!

湘南厚木病院・山下尚子氏、 聖隷佐倉市民病院・健診センターを訪問見学！

「理論と実践」や「月刊医療経営士」(日本医療企画)に何度も登場いただいている湘南厚木病院の山下尚子氏より届いた1本の連絡をきっかけに、本企画は誕生した。「理論と実践」で取り上げた聖隷佐倉市民病院 健診センターの記事を記憶していた山下氏が、健診センター事務長の池田孝行氏に施設見学と併せてお話をうかがいたいと切望、誌面を通じてお互いの活躍に注目していた2人が初めて出会ったこととなった。

4月26日、湘南厚木病院 経営企画室課長(当時、現在は湘南鎌倉総合病院に異動)の山下尚子氏が、自院の4人のスタッフとともに、聖隷佐倉市民病院・健診センター事務長の池田孝行氏の協力の下、同施設の訪問見学を行った。

同じ医療経営士という誼から健診センターの見学を協会経由で依頼、池田氏が快く応諾し、実現に至った。

以前、会員情報誌『理論と実践』No.22で、聖隷佐倉市民病院・健診センター(以下、健診センター)における健診事業の取り組み事例を紹介したが、その記事を目にした山下氏が、自院の健診事業の拡大と地域の健康づくりの推進のために、健診センターの成功実績に学び、自院の参考にしたいと熱望したことが発端だ。

健診センターは、千葉県佐倉市を含む近隣6市1町、約80万人を主な対象に人間ドックと健康診断事業を展開し、受診者は1日当たり100人前後、予防接種や保健指導、出張健診などを含めると年間4万人以上を数え、リピーターを中心とした受診者数や収益も年々右肩上がりの成長を続けている。



見学会に関わった両病院のスタッフが一堂に会し、熱心に質疑応答や意見交換を重ねた

健診センターでは高齢者の受診者が多いことから、100歩以内で基本的な検査が受診できるように中央検査室を中心としたレイアウトを特長としている。増え続ける受診者に対し、現在の建物はすでに手狭となり、増築が予定されているが、現状いかに受診者に負担をかけず、効率良く検査を受けていただくか、導線やオペレーションを含めて

数々の工夫が凝らされている。施設見学は1時間以上に及び、池田氏をはじめ、聖隷佐倉市民病院副院長でもある有田誠司健診センター所長、スタッフの方々が、山下氏一行の熱心な質問に懇切丁寧に応じていた。見学後は関係者一同が大部屋に移り、見学だけではわからなかった細かいシステムや独自のノウハウ、疑問点などについて活発な質疑応答・意見交換を行った。見学の詳細については本紙では省くが、池田氏と山下氏からそれぞれ見学後のコメントをいただいている。

研究会、あるいは最近活発な動きを見せる自主研究会と、組織を超えて医療経営士同士が集まり、交流を深める機会が増えてきた。今回の試みは、『理論と実践』『月刊医療経営士』という雑誌を媒介に、新たな交流スタイル、ネットワークづくりを提案するものである。雑誌では医療経営士による好事例・先進事例が数多く取り上げられている。何か興味をもった取り組みや事例があれば、協会を通じて、あるいは直接連絡を取り、交流を深めてみてはいかがだろうか。新たな展開、思いもよらない収穫が得られるかもしれない。



施設見学では、池田氏・健診センタースタッフの皆さんが山下氏一向の細かい質問や要望にも丁寧に対応

全国医療経営士実践研究大会を筆頭に、協会本部や日本医療企画主催の各種



健診センター入口前で記念撮影。この後、山下さん自らが病院バスを運転し、佐倉から厚木へ帰院



池田孝行さん

社会福祉法人聖隷福祉事業団聖隷佐倉市民病院
健診センター事務長(医療経営士3級)

以前、『理論と実践』に掲載された当センターの取り組みについて興味をお持ちいただいた湘南厚木病院の方より施設見学および意見交換の依頼をいただき、4月26日に実施した。当日は経営企画室の山下尚子課長をはじめ多くのスタッフの方が来院、施設見学と意見交換を実施し、特に「地域資源を活用した貢献」について、大変有益な意見交換を行うことができた。私は、予防医学の本質は「地域の方々が、健康でいつまでも気持ちよく暮らすことができる心豊かな社会の創造に貢献すること」だと考えている。そのためにわれわれ健診機関は、自分たちだけで完結せず、予防医学を武器として「地域資源」を結ぶ役割を積極的に担っていき、がんで亡くなる方々をひとりでも減らし笑顔を増やす。それがわれわれのできる地域貢献ではないかと考えていたが、山下氏よりさらにストレッチされた熱い意見もいただき、「新たなDNA」を外部から積極的に取り入れていく必要があると感じた1日であった。

いわゆる同業他社の見学受入れを行うことに対して否定的な施設も少なからずあると聞かすが、自施設のブラッシュアップの機会として、ぜひお勧めしたいと考えている。



山下尚子さん

医療法人沖繩徳洲会湘南鎌倉総合病院
広報・連携室課長(医療経営士3級)

健康の追求とそれに伴う事業の推進が湘南厚木病院の課題で、昨年10月には第5回「全国医療経営士実践研究大会」名古屋大会にて演題発表を行った。事業は行政(厚木市)・地域(温泉地)・医療機関の三者によるトライセクター方式を採用し順調に推移しているが、「健康寿命の延伸」の骨格づくり、事業推進の仕組みづくりにおいて、今一つ何かエッセンスが必要と感じ、マーケティングを重視した健診事業を展開する聖隷佐倉市民病院・健診センターの池田孝行事務長に見学を依頼し、快諾をいただいた。マーケティングの基本は「その現場を見に行く」ことだ。

収穫は大きく3つ。①有田誠司健診センター所長のリーダーシップと池田事務長のマネジメントの両輪を基盤に、各部署のリーダーが各々の役割を理解し尊重し合いプライドを持って健診事業に取り組んでいること、②市民公開講座等で、有田所長自らが健診の大切さを説き、池田事務長の企画力によって地域の方々へ発信・宣伝を行っていること、③その効果(受診者数、収益、アウトカム等)が着実に現れていることだ。帰宅後、ドラッカーの本を読み返し、見学会と併せて実学を学ぶ有意義な時間を過ごせたとの実感を強くした。

事務局 掲 示 板

～日本医療経営実践協会からのお知らせ～

第21回「医療経営士3級」資格認定試験
過去最多4,596人がエントリー

6月18日(日)に実施する第21回「医療経営士3級」資格認定試験の受験エントリーが5月10日(水)に終了し、過去最多だった前回試験を1,946人上回る4,596人の方がエントリーしました。また、同日実施する第13回「医療経営士2級」資格認定試験も過去最多410人(両分野受験)がエントリーしています。両試験の合格者は7月18日(火)に発表。本紙9月号では試験結果の詳細をレポートする予定です。

2017年度試験ポスターが完成
掲示していただける会員の方を募集!

2017年度「医療経営士」資格認定試験のポスターを掲示していただける会員の方を募集しています。ポスターをご希望の方は下記お申し込みアドレスへ「医療経営士ポスター希望」とタイトルをつけ、お名前、所属先、所属部署、肩書き、送付先住所、電話番号、必要部数をご明記の上、ご連絡ください。皆様のご応募をお待ちしております。
【お申し込み】
E-mail: info@jmmpa.jp



支部活動に参加してレベルアップを図ろう!
PICK UP 研究会

6/24 東海支部

第4回岡村医療経営塾

「栄養経営士と医療経営士が経営士を取得した理由と今後の展望について語る会」

東海支部では、岡村記念病院に所属する4人が講師となり、第4回岡村医療経営塾を開催する。総務課課長代理の木部祐洋氏と栄養科の寺田師氏はそれぞれ医療経営士・栄養経営士を取得した理由と今後の展望について、企画運営部主任の下山智則氏は「医療経営士の企画力」、介護支援専門員の田中賢司氏は「医療経営士から介護福祉経営がどう見えるのか」をテーマに登壇する。4人の発表のあとは、グループディスカッションが行われる。

- 日時
6月24日(土)13:00~15:00
- 会場
岡村記念病院4階カンファレンス室
(静岡県駿東郡)
- 参加費(税込)
無料
- 問い合わせ先
岡村医療経営塾運営事務局
(岡村記念病院地域連携室内)
TEL:055-973-3221

6/24~ 中国支部

地域医療構想時代を生き抜く切り札
経営企画力を高める『石井ゼミ』(全4回)

中国支部は、多摩大学医療・介護ソリューション研究所フェローの石井富美氏を講師に迎え、『石井ゼミ』を全4回で開催する。地域医療構想が動き出した現在、経営企画の重要性は一層高まっている。ゼミでは講義やグループワークを通して課題解決の立案と実践スキルを磨くとともに、効果的なプレゼン手法について解説。全国大会において演題発表を検討中の方はぜひご参加いただきたい。

- 日時
6月24日(土)、7月29日(土)、8月26日(土)、10月21日(土)
※各回13:00~16:00
- 会場
広島県医師会館501会議室(広島県広島市)
- 参加費(税込)
会員:全4回20,000円(書籍代込)、単回6,000円(書籍代なし)
一般:全4回30,000円(書籍代込)、単回10,000円(書籍代なし)
- 問い合わせ先
中国支部(担当:杉安) TEL:092-418-2828

日本医療経営実践協会 支部研究会スケジュール

開催日	開催支部	テーマ	講師
6月10日(土)	北海道	北海道支部設立2周年記念フォーラム 「北海道におけるこれからの医療・介護の連携と次期改定を見据えて」	川淵孝一氏(東京医科歯科大学大学院教授) / 秋野豊明氏(溪仁会グループ会長、北海道支部支部長) ほか
6月16日(金)	北海道	地域を知る 仲間と繋がる 共に学ぶ 医療・介護・栄養経営士3支部合同研究会 第3回(全6回) ※7月21日(金)に第4回を開催	秋野豊明氏(溪仁会グループ会長、北海道支部支部長)
6月17日(土)	関東	経営人材としての総合力を高める「石井ゼミ」 第1回(全4回) ※7月15日(土)に第2回を開催	石井富美氏(多摩大学医療・介護ソリューション研究所フェロー)
6月23日(金)	北海道	社会保障ゼミⅡ 第3回(全6回)	神内秀之介氏(NB lab代表、介護福祉経営士1級)
6月24日(土)	東海	第4回岡村医療経営塾 「栄養経営士と医療経営士が経営士を取得した理由と今後の展望について語る会」	木部祐洋氏(岡村記念病院総務課課長代理、医療経営士2級) / 寺田師氏(岡村記念病院栄養科、栄養経営士) ほか
	中国	地域医療構想時代を生き抜く切り札 経営企画力を高める「石井ゼミ」 1日目(全4回)	石井富美氏(多摩大学医療・介護ソリューション研究所フェロー)
7月22日(土)	関東(東北支局)	経営企画の力を向上させる「石井ゼミin東北」 第2回(全3回)	石井富美氏(多摩大学医療・介護ソリューション研究所フェロー)

※日程等は変更になる場合があります。詳細は協会ホームページでご確認ください

医療従事者がいきいきと働ける最高の舞台をつくる

経営人材としての総合力を高める

“石井ゼミ”全国③都市で開催中!

主な内容

(東京会場の内容です。他会場はホームページをご覧ください)

- ▶ 経営企画部門の役割と求められるスキル
- ▶ データの戦略的活用法
- ▶ 社会保障政策の読み方、活かし方
- ▶ 広報戦略とマーケティング

東北会場 (仙台市・全3回)	東京会場 (千代田区・全4回)	広島会場 (広島市・全4回)
5月27日(土) 終了	6月17日(土)	6月24日(土)
7月22日(土)	7月15日(土)	7月29日(土)
9月30日(土)	8月19日(土)	8月26日(土)
	9月16日(土)	10月21日(土)
担当:浅石 ☎03-3256-2885	担当:平山 ☎03-3256-2885	担当:杉安 ☎092-418-2828

- 講師:石井富美氏(超高齢社会健康・医療・くらし研究所主任研究員、多摩大学医療・介護ソリューション研究所フェロー)
- 場所:各会場の詳細は下記ホームページをご確認ください。

各回の参加も大歓迎!